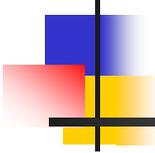
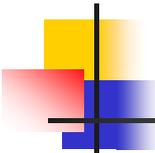


《津波避難対策推進マニュアル検討会 資料》



## 神奈川県防災対策について

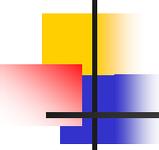
平成24年6月5日(火)  
神奈川県安全防災局  
危機管理部災害対策課



### 神奈川県の自然的、社会的条件

#### 【自然的条件】

- 太平洋プレート、フィリピン海プレート、北米プレートが錯綜
- A級活断層、主要起震断層が11本(確認されている活断層全体で約30本)
- 東京湾、相模湾に面した長い海岸線
- 箱根火山、丹沢山地等急峻な地形
- 相模川、酒匂川流域の沖積平野

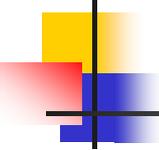


## 神奈川県の自然的、社会的条件

---

### 【社会的条件】

- 狭い面積(全国第43位)、稠密な人口(同2位)
- 高い市街化区域率(38%)、既成市街地の建物の密集化、高層化の進行
- 国内有数の石油コンビナート地帯
- 京浜工業地帯をはじめとする産業の集積
- 箱根山、三浦海岸、湘南海岸等の観光地



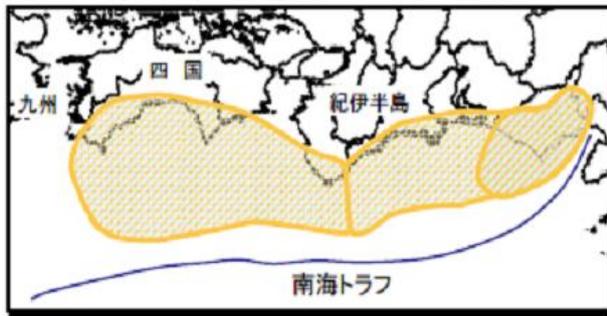
## 神奈川県の災害の特徴

---

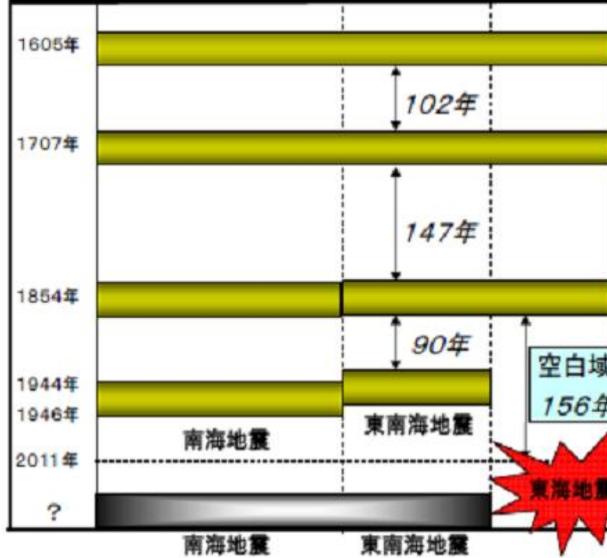
- 地震・津波  
東海地震、県西部地震の切迫性
- 風水害  
山間部の急峻な地形による急激な増水  
都市化の進展による都市型水害
- 火 山  
箱根山・富士山

→ 日頃の「備え」が重要

# ○ 東海地震の切迫性について



**東海地震**  
 東海地震の想定震源域では概ね100~150年の間隔で大規模な地震が発生しているが、東南海地震(1944)で歪みが解放されず、安政東海地震(1854)から156年間大地震が発生していないため、相当な歪みが蓄積されていることから、**いつ大地震が発生してもおかしくない**とみられている。  
**東海地震は唯一直前予知(地震の前兆現象をとらえる)の可能性があり、予知された場合には事前避難・交通規制等の対策を講じる。**

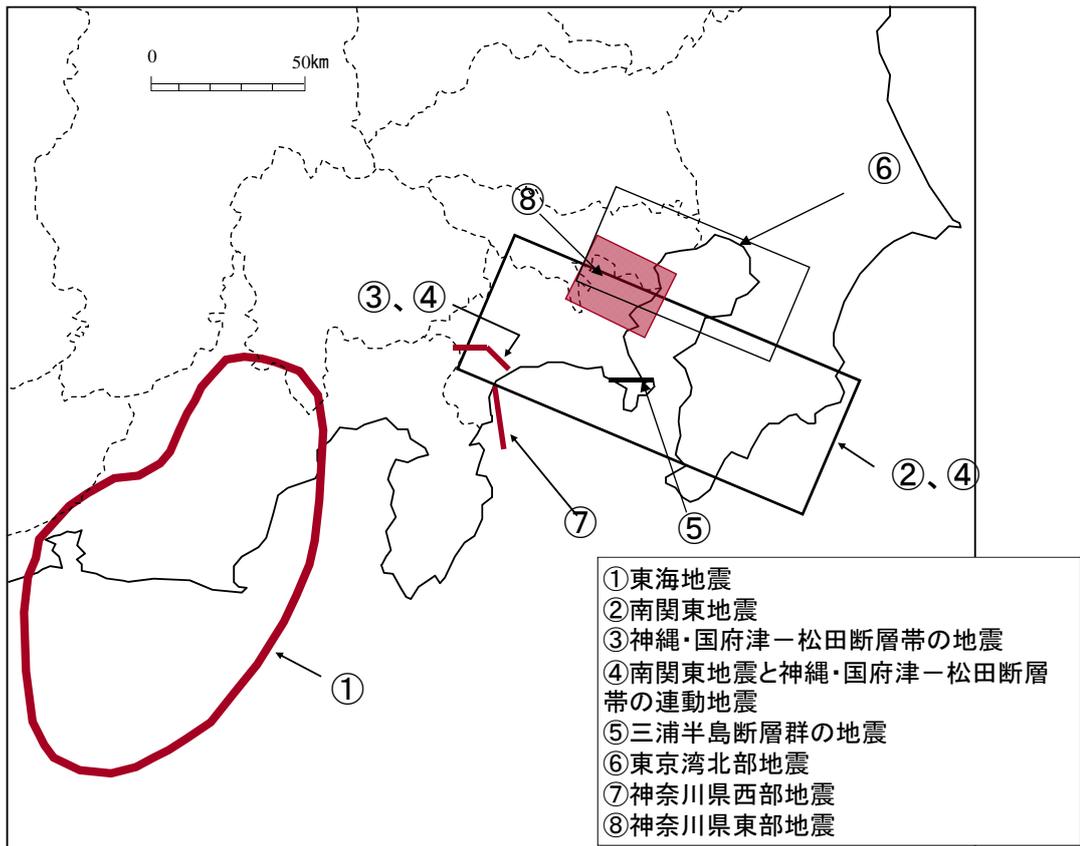


- 慶長地震 (M7.9)
- 宝永地震 (M8.6)
- 安政東海地震 (M8.4) → 32時間後
- 安政南海地震 (M8.4)
- 東南海地震 (M7.9) 死者・行方不明者1,223人 → 2年後
- 南海地震 (M8.0) 死者1,330人

**東南海・南海地震**  
 おおむね100~150年の間隔で発生しており、今世紀前半での発生が懸念されており、関東から九州にかけての広域防災対策を早急に確立していく必要がある。

内閣府ホームページから抜粋  
 破壊領域 (震源域がしめる範囲)

# 神奈川県に影響を与える地震



# 津波浸水予測図の再検証

平成19～20年度 地震被害想定調査の実施(津波浸水予測図の作成)

平成23年3月11日 東日本大震災の発生

概ね数百年から千年に一度程度発生する地震に対する対策の必要性

平成23年度 津波浸水予測図の再検証の実施

神奈川県津波対策推進会議の下に、新たに学識者、国、県等による「津波浸水想定検討部会」を設置

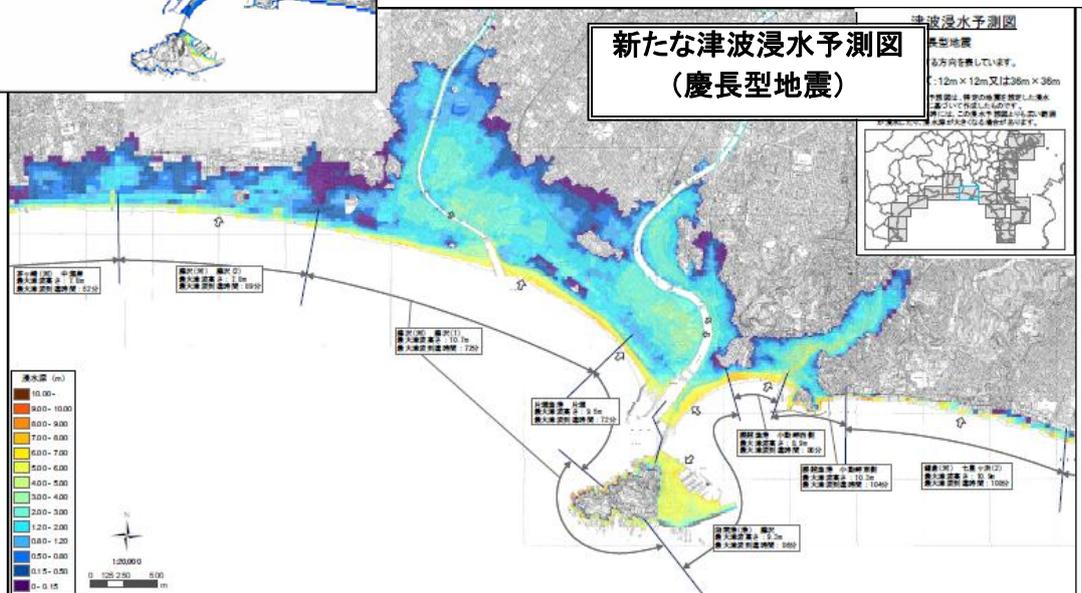
技術的な見地から現在想定している津波の規模、浸水範囲等について再検証を実施。

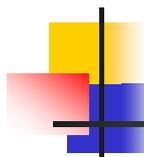


## 津波浸水予測図の比較

新たな津波浸水予測図は平成24年3月30日に公表。県ホームページで閲覧できます。

(県土整備局 流域海岸企画課)

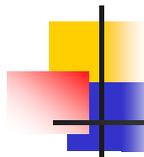




## 神奈川県地域防災計画

- 国の防災基本計画と連携し、市町村地域防災計画の指針となるもの
- 地震や風水害等の災害及び原子力災害全般に関して総合的な対策を定めたもの
- 災害発生前の事前対策から発生後の応急対策、復旧・復興対策までを総合的に定めたもの

東日本大震災を教訓に「地震災害対策計画」を修正（平成24年4月）



## 「地震災害対策計画」修正の 基本的な考え方

### 【5つの視点】

1. 「自助」・「共助」による取組の強化
2. 正確かつ迅速な情報の収集・提供体制の強化
3. 市町村や企業、団体等との連携強化
4. 地域の実情に応じた対策の実施
5. 柔軟な災害対応の実施

## 第2章 都市の安全性の向上

### 第4節 津波対策

- 津波に強いまちづくり
- 海岸保全施設等の整備
- 伝達体制等の整備
- 避難施設の整備等
- 避難対策
- 災害時要援護者対策
- 津波に関する知識の普及／防災教育の充実
- 津波訓練の実施
- 津波に関する調査等の実施

### 避難対策

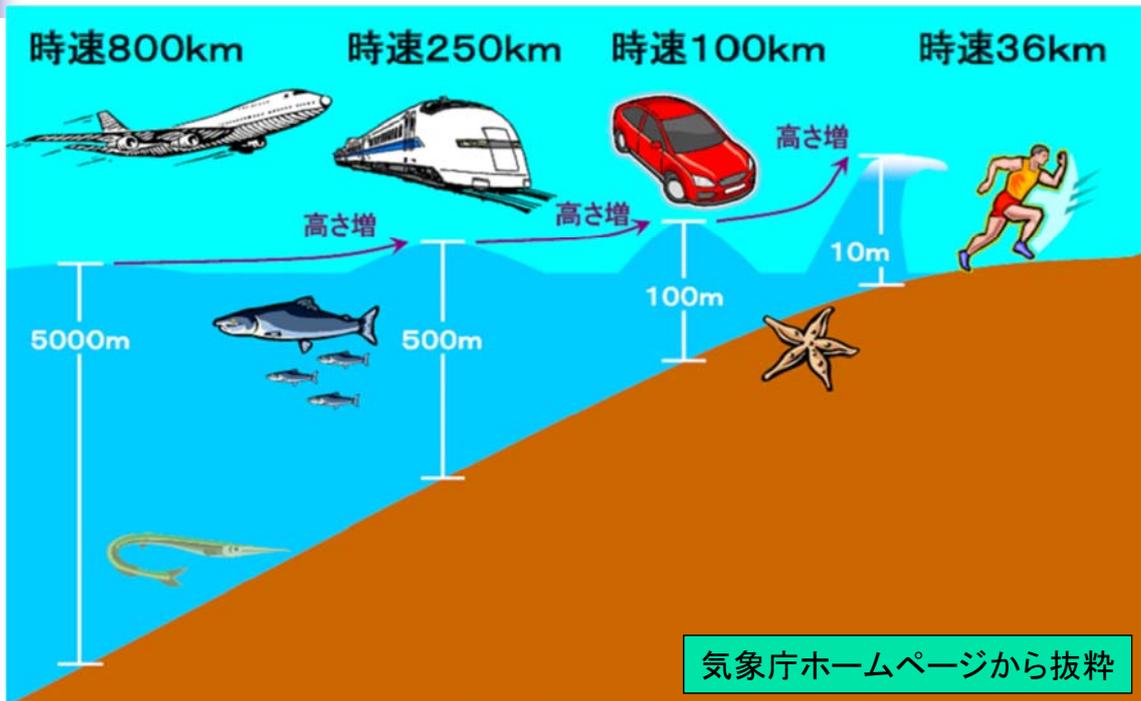
(沿岸市町)

- 新たな浸水予測図を踏まえた、津波避難計画の早期策定  
避難指示等の発令基準の策定  
避難所等の指定の見直し
- 避難場所・避難路の確保、誘導標識の整備
- 避難誘導のルールを作成、周知

(県)

- 避難指示等の発令基準の策定等の支援

## 津波に関する知識の普及



**海岸で揺れを感じたら、  
すぐに高いところへ避難**

- **小さな揺れでも大きな津波**になることもある
- 津波は**繰り返し襲**ってくる



- 急いで高台やビルの高い階等の**安全な場所へ避難**
- 荷物を取りに**戻らない**
- **正しい情報**で冷静な行動を